

本年度の重点『新しい学校教育を推進し、子どもの「いつも（日常）」を支え、広げる』

学校だより

小倉総合通信



こくらそうごう

6月号（令和6年6月3日）

小倉総合特別支援学校

校長 前田 孝二

人工呼吸器の回路外れ対応研修

今回も先生方が行った研修を紹介します。以前より、保護者の方から人工呼吸器の接続部が外れた時には緊急性があるため、担任にはめてほしいという要望が出ておりました。そこで、教育委員会に確認したところ、「人工呼吸器の接続部をつける行為は医療行為であるため教師はできない。しかし、緊急時（命の危険がある場合）であれば、教師がつけても違法にはならない。」という回答をいただきました。ただし、人工呼吸器の接続部をつける者は、人工呼吸器の構造を理解しており、その児童生徒の周りに日常的にいて、保護者や看護師が人工呼吸器の接続部をつける場面を見ているような身近な教師であるとのことでした。

そのため、緊急時に備え、主に人工呼吸器を使用している児童生徒に関わる学年の先生方を対象とした研修会を実施しました。本校の看護師さんに講師をしていただき、先生方は熱心に説明に耳を傾け、お互いに接続部をつける疑似体験をしました。今後もこのような研修を行い、安全・安心な学校づくりに向けて取り組んで参ります。



避難訓練を実施しました

5月16日(木)に、火災を想定しての避難訓練を行いました。長年、本校の改修工事や総合療育センターの駐車場工事が続いており、毎年避難場所や避難ルートが変更となっていました。総合療育センターの駐車場が完成したため、全校児童生徒が正式なルートで避難し、1ヶ所に集まる避難訓練を実施することになりました。当日は風が強く、気温も低かったため、集合はせず、点呼のみ行いました。おしゃべりをすることもなく、冷静に素早く行動することができ、10分以内に全員が無事に避難（点呼）することができました。

また、各教室で、避難の約束「お・は・し・も・ち」を確認しました。



前期「産業現場等における実習」開始

5月27日(月)から、高等部は前期「産業現場等における実習」が始まりました。6月7日(金)までの2週間、1年生は初めての校内実習、2年生は初めての校外実習、3年生は卒業後の進路を決めるための大切な実習となります。送迎や実習の振り返り等、保護者の皆様にはご協力いただくことが多くあります。実習へのご理解とご協力をお願いいたします。